

(表よりつぶく)

▼ 9・14以降一かたつむりの会員はどの3・4人だけで機関紙へ死刑と入獄へ執行をさせ、どうぞつづけて死刑廃止運動連絡センターなど、巡回講演会もつづいて、こういった会員が数名で、東京支部メンバーやつべらやまとにて新しくメンバーがあ

▼ 2月12日（水）へ向へ事でなく政治を考へるもくと一時は
かり話した坂巻氏に、「田の丸を越すかな」「西郷ども」
かなことと繰り起した。

El mia tagliere

之、また、すぐ虹の矢に結びつかなくても、東アジア反田武藝戦流の問題の癡騒に用心をあせる人が多く今日でキルと叫んで。

● こんな三ヶ月、西の金やかたつむりの金に来た人を

めで知り、死刑の問題をもつてゐるなりに」なり。かくてつむりの心と其心がやがての行事に「モレ」てこう、その意味でせども「モレ」たは裏をかいてやうに自然なかへわたり方がある——と國へ。それは、ぼくが自分の「ごき」に求められや、なつかさが宿るかにへつらキスなるつたものだ、おつかれの入たうちとしゆうひ「ペルソーナ」でつゝモレせる一運動的一般化・大衆化——すべはへとモ「抜がリ」の端緒である。（アフタ）

そば芸術が一作一作に漸く新しい創造・進歩(アーティスティック)性(アーティスティック)をもつて、新しく分野を拓いています。

していくものでなければーと云いつてけマキだ。にもかか
からず、いつのまにかついいつい慣れきつて、昨日と同じこ
とをなぞつているーということになつてしまふのは、運動

の体質にて、「創造性」と全く対立する「威主義・軍事主義」が形式主義が抜きかたへのこつこつこと、更にメンバーがいつも同じ顔ぶれで、その発想や行動の乏しさ、範囲の狭

ンネリ化がなければ、からだ。

型や枠をぶらこなすための一つまり新しい創造力を行動にたらす可能性になつてもうかるばなう。

ハヤカシイようになります。足軽く老けて、今更ながら驚いたこと、他人がやつても自分もやまなかつたこと、つまり自分にとって新しいことがそのまま入口である。例え世界のもの（文具、スケルトン模型）へ行くのがたつぱりの入り口で、鶴見俊輔さんという形の講座／にぎやかせんべど偶然に手に入らなかったと改めて意識的にどうぞ直すことと、一気にこれに向こうつけ加えるか一歩出でてくる。

▼木田ふるさん痛集発行の「くほ根力」の「非暴力運動行進」

・今月は3月6日集会の宣伝のために、発送先を拡大しました。
・イオム通信继续希望の方は、自分宛の宛名をかき、切手
10円貼付の上、下記に記入してお送り下さい。通じて下さい。